

## 提言に対する改善報告書

大学名称 福岡工業大学 (評価申請年度 2005 年度)

## 1. 助言について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	教育内容・方法
	指摘事項	(1) 教育課程等 1) 『点検・評価報告書』において、学科によって教育改善への取り組み状況に差があることを指摘しており、今後は組織的な取り組みが望まれる。
	評価当時の状況	丁寧な教育やFD等に対する教育改善への取組状況については、教育改善委員会において実施すべき内容等を審議した後、実施する内容については各学科で検討し、それを実施する学科からスタートするという学科の独自性を尊重して対応してきた。
	評価後の改善状況	本学では、平成 17 年(2005 年)10 月に従来の教育改善委員会を発展的に解消して「教育改善推進委員会」を新たに設置し、教育改善活動に全学的に取り組む体制を構築した。 具体的には、各学部(工学部、情報工学部、社会環境学部)と大学院にそれぞれ計 4 つの定常部会を、その下の各学科及び各研究科に部会を置き、それぞれの学科・研究科に種々の教育改善項目の検討・推進を図る委員会を組織するという、一種のハイアラーキー構造の体制で、総合的・系統的に教育改善活動を継続的に推進していく体制を構築すると共に、全学的な新しい推進課題については、時制限りのワーキング・グループを設置して検討に当たる体制を整備した。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
	<p>&lt;教育改善推進委員会の活動概況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 18 年度/開催回数 5 回 (H18.10.2、H18.12.11、H19.2.13、H19.3.5、H19.3.20)</li> </ul> <p>平成 18 年度は、第 4 次マスタープランの作成を手始めに、各部会がそれぞれの審議方針を定めて検討を開始した。WG では、特に教員褒章 WG が作成した「教員褒章の実施について(案)」が平成 19.1.14 の全学教授会に提出された。同案は改善すべき点があるとして、教授会では実施に関する承認が得られず、次年度以降さらに改善案を検討していくこととなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 19 年度/開催回数 2 回 (H19.10.22、H20.3.26)</li> </ul> <p>平成 19 年度は、各部会の議論が具体化し、工学部会では、エンジニアリングデザイン教育先進校の視察、情報工学部会では教育業績評価に関する他大学視察及び制度試案作成、社会環境学部会では GP 申請案件検討などが行われた。</p> <p>各学部会が共通して入学前教育の実施事項の確認と学部統一の検討を行い、手続きを事務局(入試課)で一本化するとともに、「入学前教育実施内容」および「入学前までに理解しておくことが望ましい学習内容」のまとめが行われた。</p> <p>各 WG の活動が活発となり、「人間力教育推進 WG」「キャリア教育形成 WG」「英語教育推進 WG」からそれぞれ答申が提出された。答申の具体的実践について今後検討、推進していくこととなる。</p> <p>また、全学に関する事項として「授業評価アンケート」の WEB 化が提案、了承され、具体的事項検討のために教務委員会のもとに教員 WG が設置された。</p> <p>さらに、GP 関連の申請に関しては、「大学教育の国際化加速プログラム」2 件、「質の高い大学教育推進プログラム」1 件、「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」1 件、「戦略的大学連携支援事業」1 件の申請を行い、そのうち「戦略的大学連携支援事業」が選定された。</p> <p>また、GP 申請と関連して「フレッシュマンスクール(仮称)」の設置も検討・了承され、平成 21 年度からの設置を目指して、委員会内に設立準備作業 WG が設置されている。&lt;H21.4 整備済&gt;</p> <p>さらに、平成 21 年度からは「共通教育部会」を定常部会の一つとして設置する予定である。</p> <p style="text-align: right;">&lt;H21.4 整備済&gt;</p>	

<大学基準協会使用欄>					
検討所見					
改善状況に対する評定	1	2	3	4	5